

# 佐賀県におけるサルボウの斃死概要(昭和50年代)

(岡山水試・山口内海水試・佐賀有明水試・南西水研 1988)

有明海での斃死は、昭和40年代後半から夏季に発生するようになった。

岡山・山口県でも同様な斃死がみられたが、斃死貝は有明海から養殖用として持ち込まれたものであった。

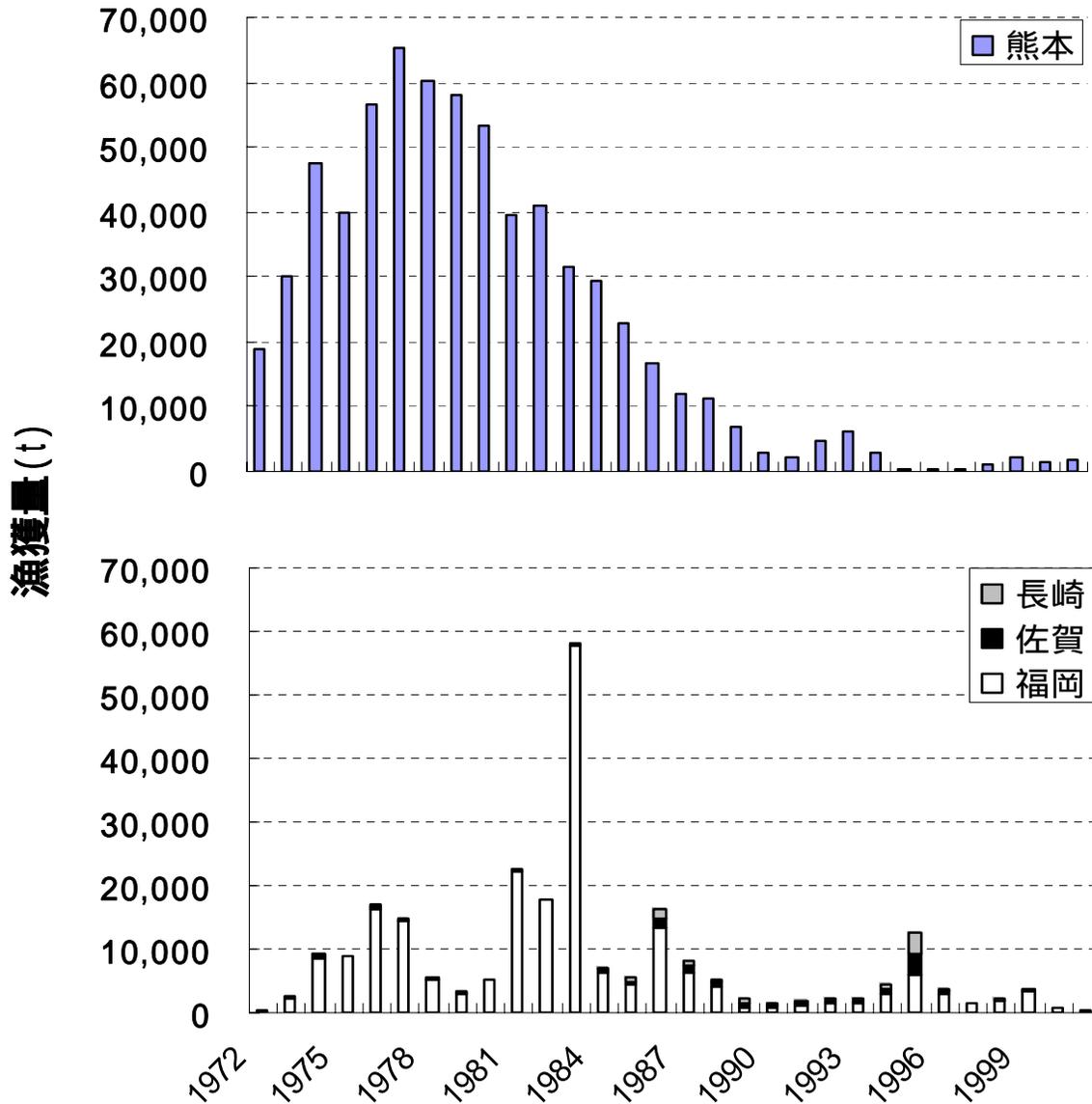
有明海での斃死は昭和60年を境に収束し、岡山・山口県でも同様な傾向を示した。

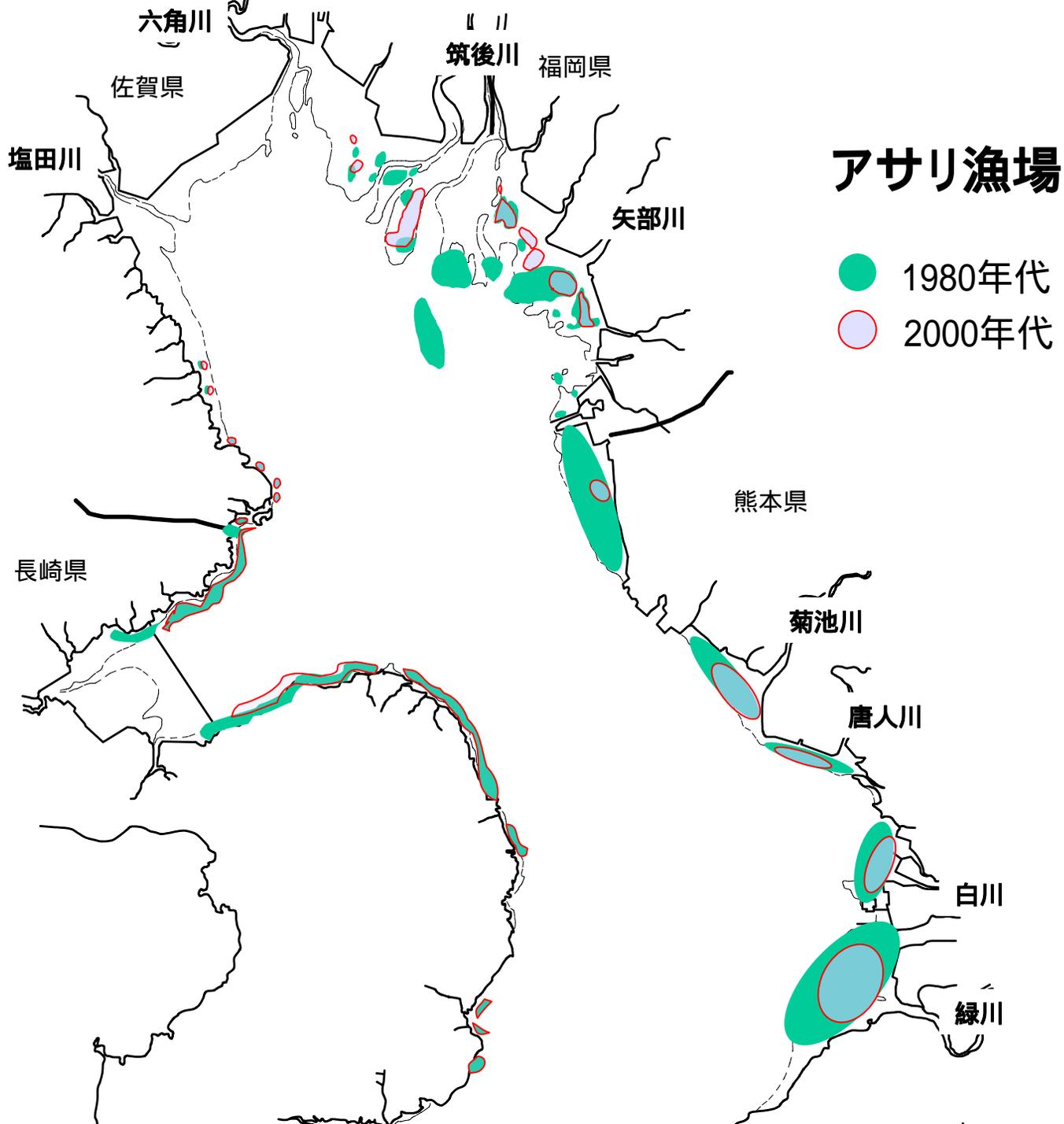
有明海産種苗の活力低下が斃死につながった可能性がある。

活力が低下した稚貝は、通常的环境変化に対応できなかった可能性がある。

活力低下の原因は不明であるが、成熟・産卵との関係が示唆された。

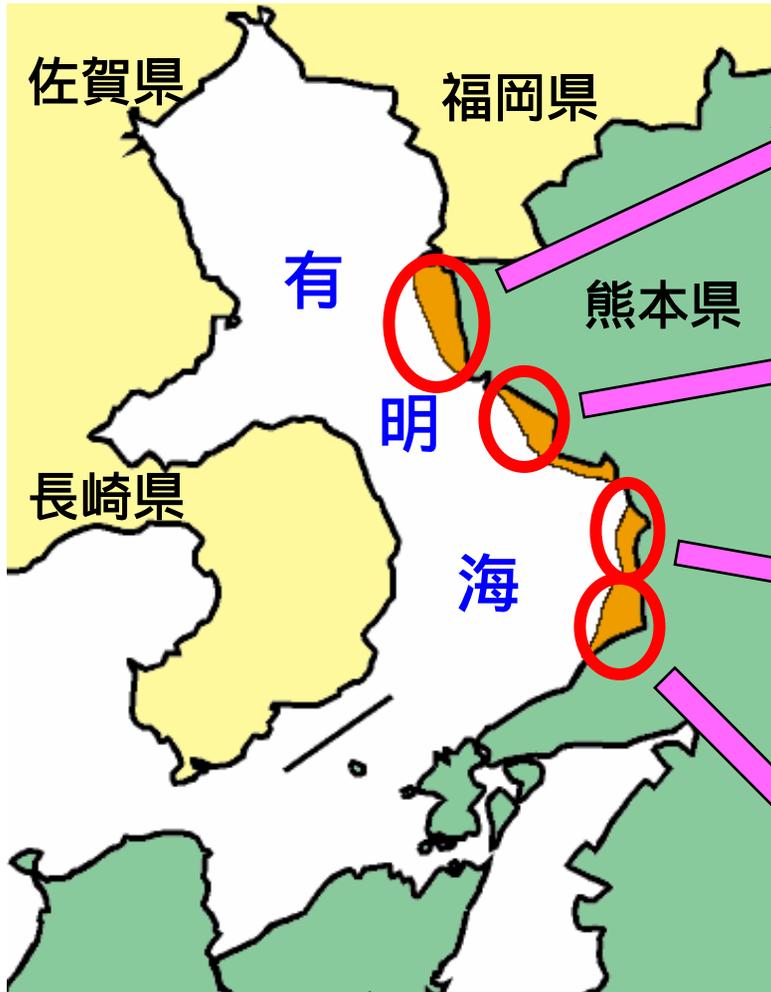
# 有明海における県別のアサリ漁獲量の推移(農林水産統計)





# 有明海熊本県沿岸の主要漁場

(那須ら 2004)



## 荒尾地先

- ・ 3 漁協が利用
- ・ 最大漁獲量7,459トン(1978)

## 菊池川河口域

- ・ 4 漁協が利用
- ・ 最大漁獲量14,459トン(1977)

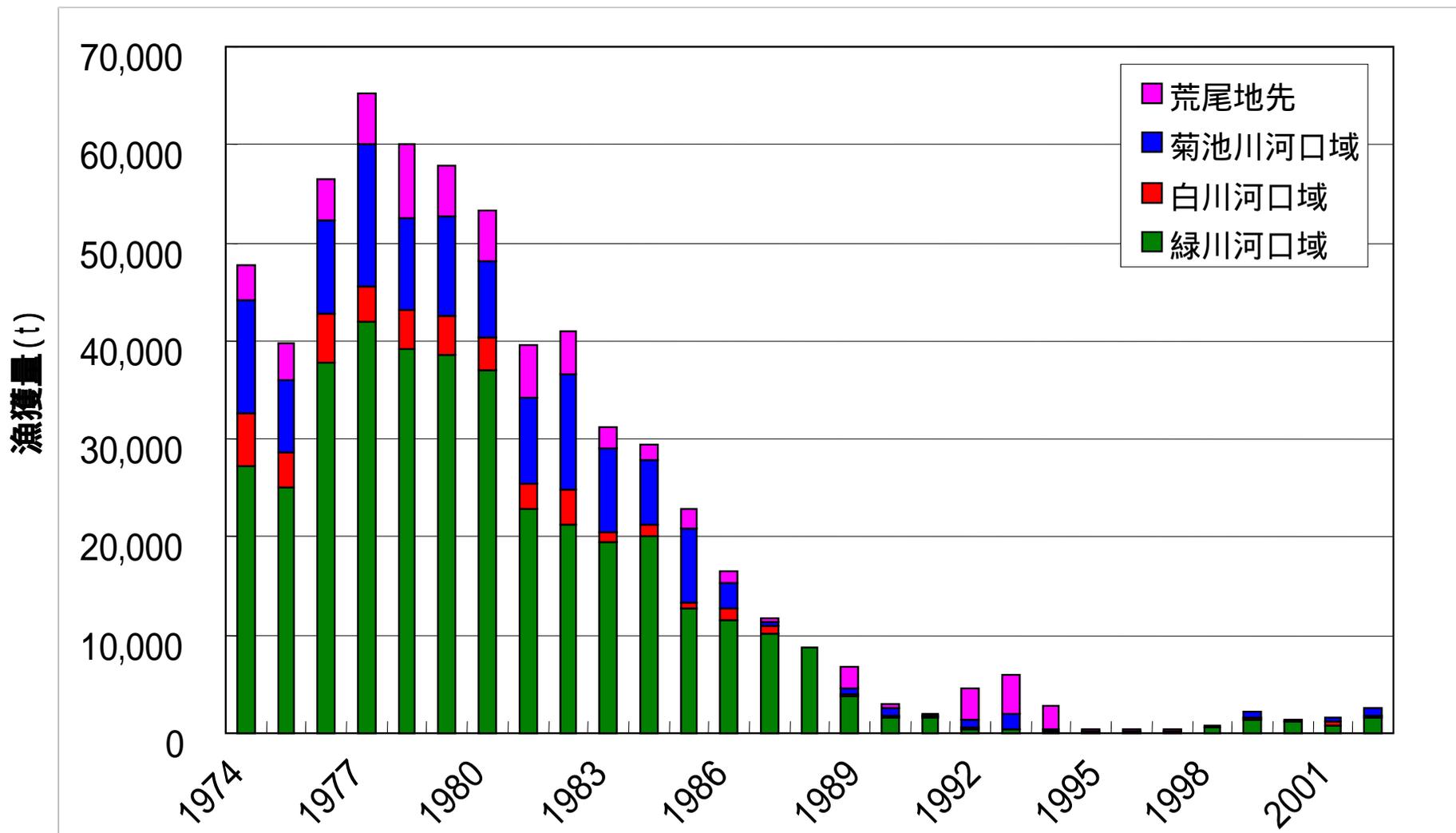
## 白川河口域

- ・ 4 漁協が利用
- ・ 最大漁獲量5,206トン(1974)

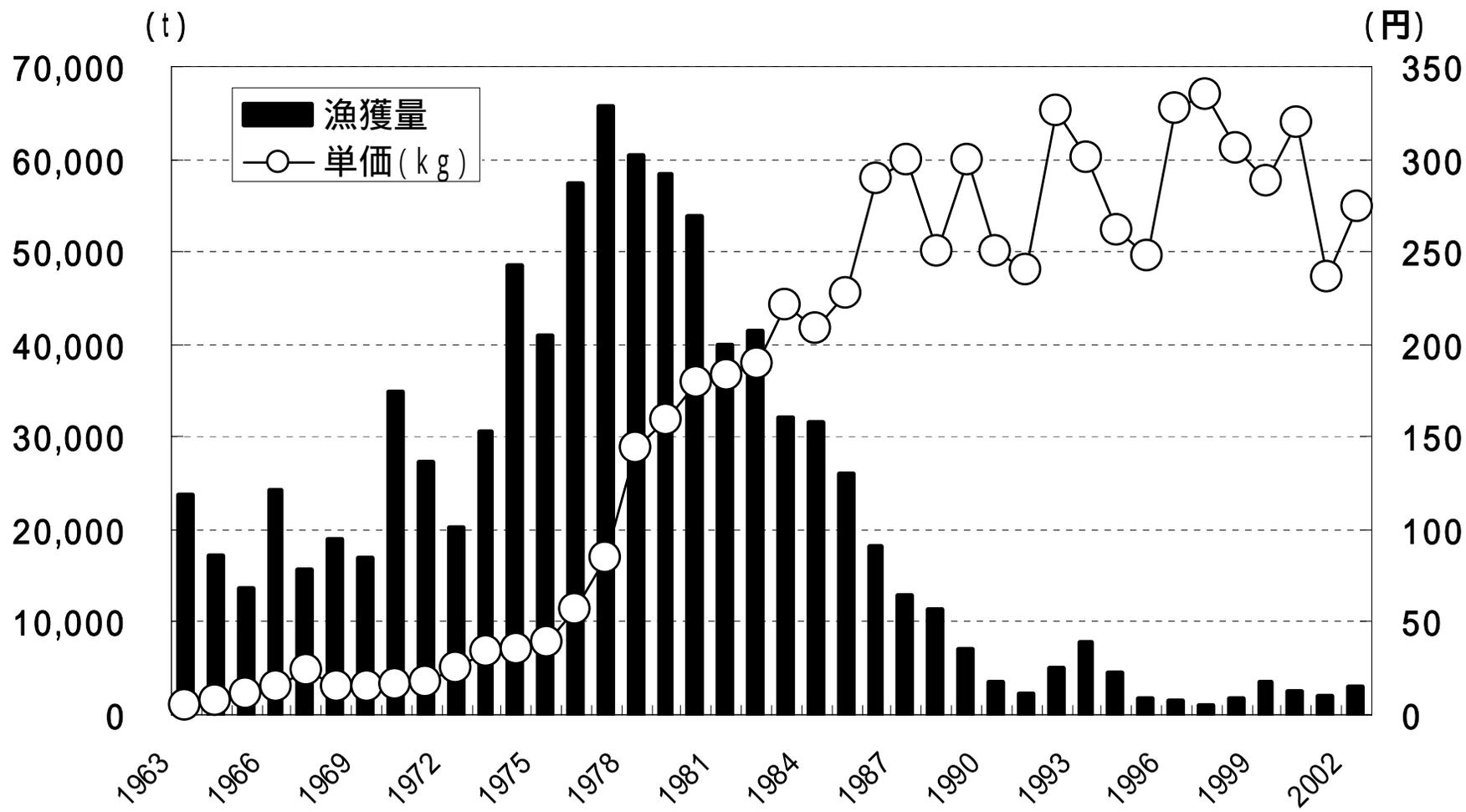
## 緑川河口域

- ・ 5 漁協が利用
- ・ 最大漁獲量42,010トン(1977)

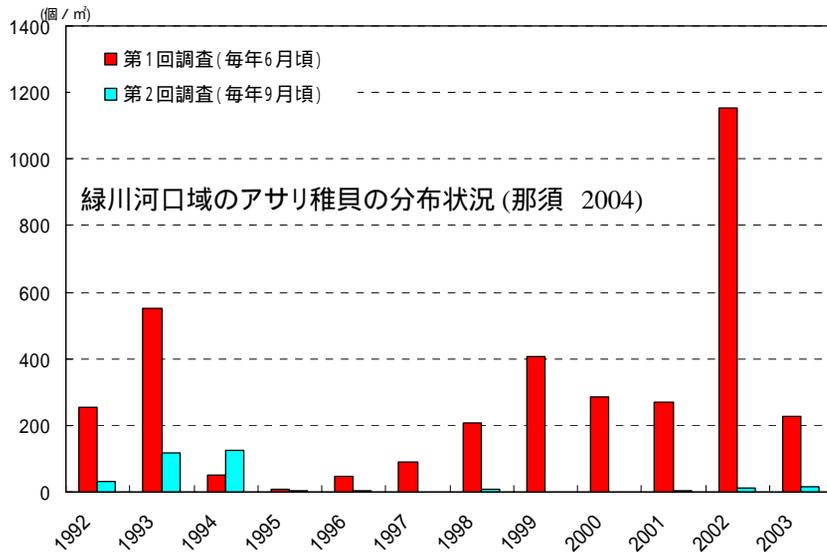
# 熊本県のアサリ漁獲量の推移(農林水産統計)



# アサリ漁獲量と単価の推移 (熊本水研センター資料)



# 有明海(熊本県沿岸)のアサリ減少要因は？



- ・他の二枚貝と同様に、毎年アサリ稚貝の発生量は異なる
- ・その年の幼生の発生量や漁場に参加後の気候等の環境条件により生残が異なるため

このことを前提に減少要因を考えると？

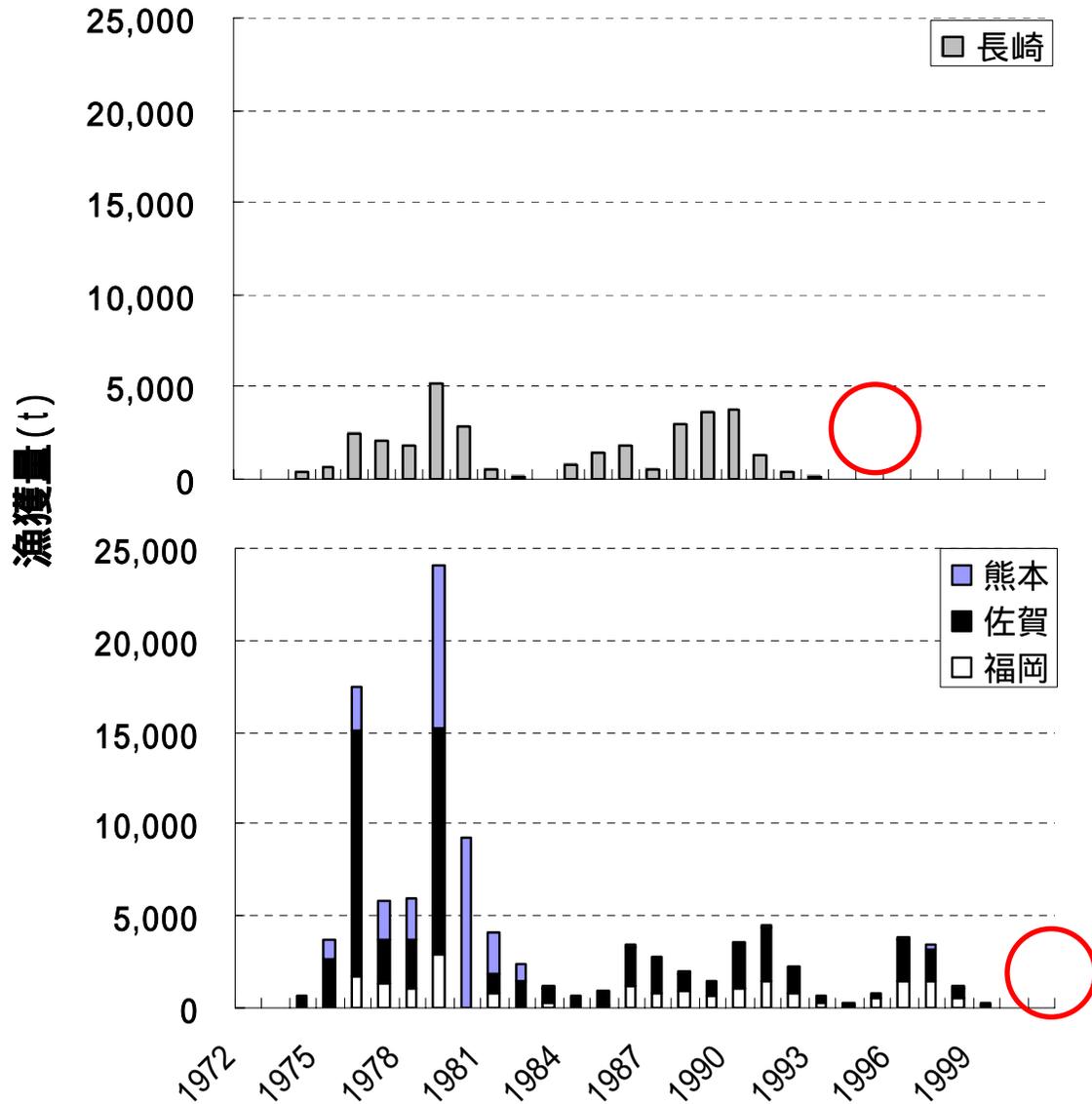
## アサリ漁場の減少

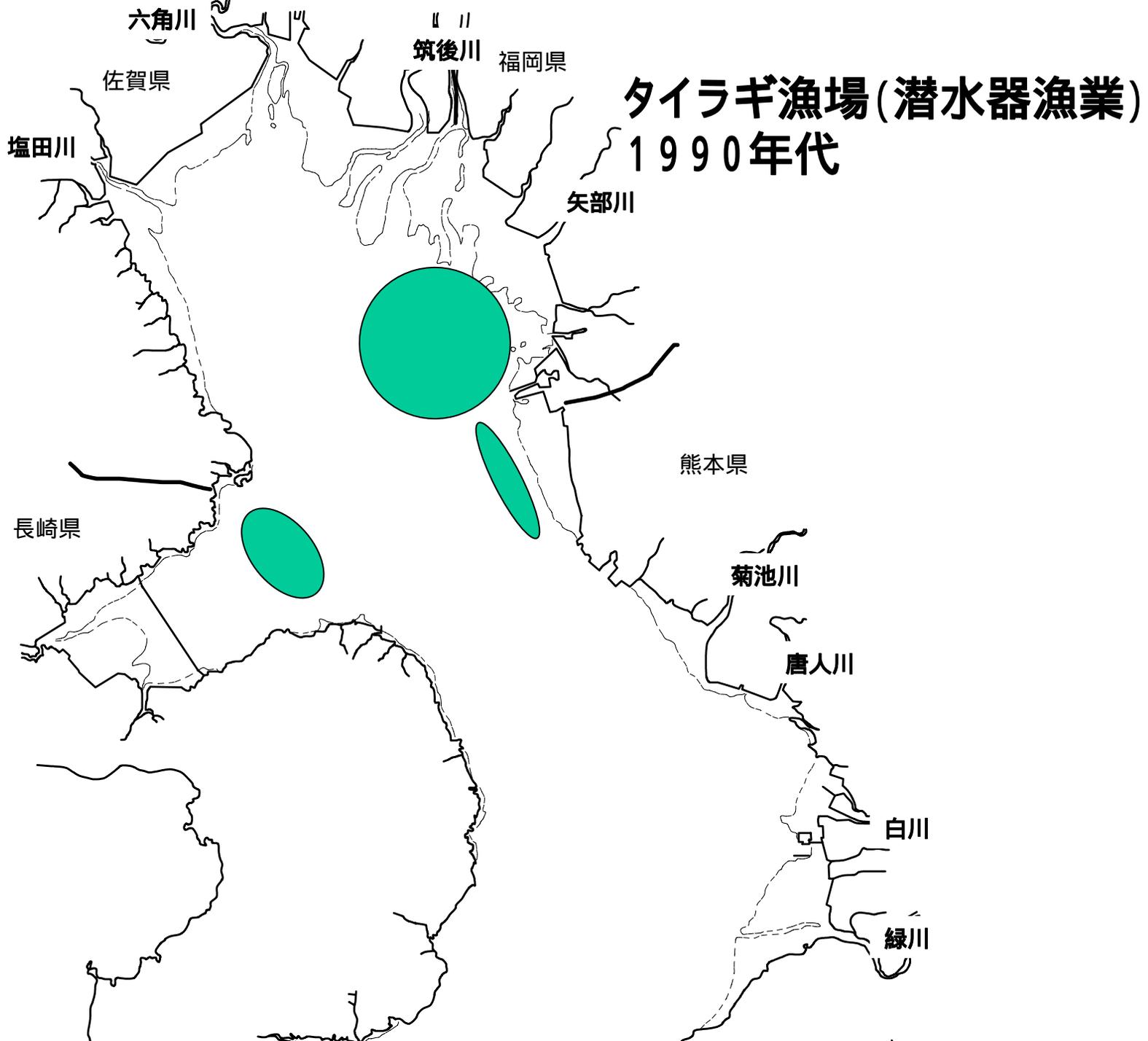
環境要因による大量斃死(大雨、猛暑など)

不十分な資源管理(乱獲)

食害

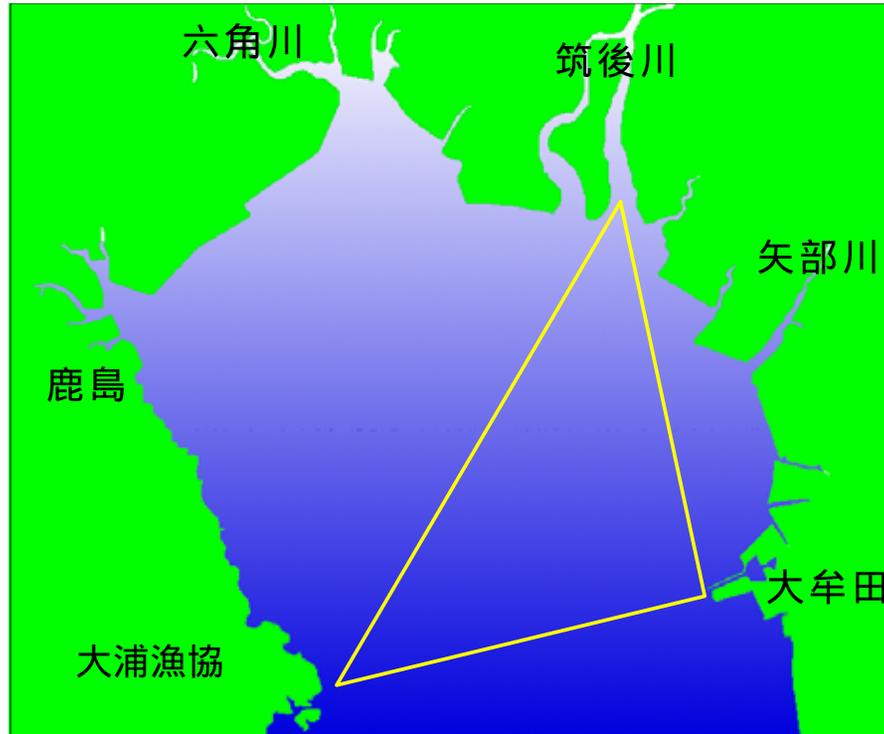
# 有明海における県別のタイラギ漁獲量の推移(農林水産統計)





# タイラギ漁場(潜水器漁業) 1990年代

# 有明海北部海域のタイラギ資源



1. 長期的な資源の減少 (漁場の縮小)
2. 2000年以降の異変 (大量死、食害)